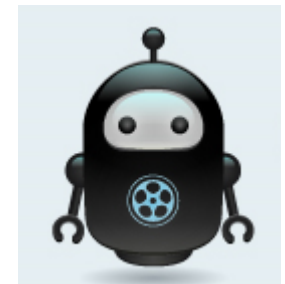


ChatBot

ヘルプデスク、会議室予約、社員電話帳検索、IoT対応が可能なBot



フェアユース株式会社

各チャンネルでの利用が可能です。



Microsoft Teams



Skype for
Business (※)



LineWorks



WebChat

Skype for Business上のアカウントのAIであるBotが社内向けに様々なサービスを提供します。下記はその一例です。

① 社員電話帳の検索

社内電話帳上のデータを検索することが可能です。

② CRM上の社外ユーザの検索

CRM上のデータを文字列で検索することが可能です。

③ ヘルプデスク

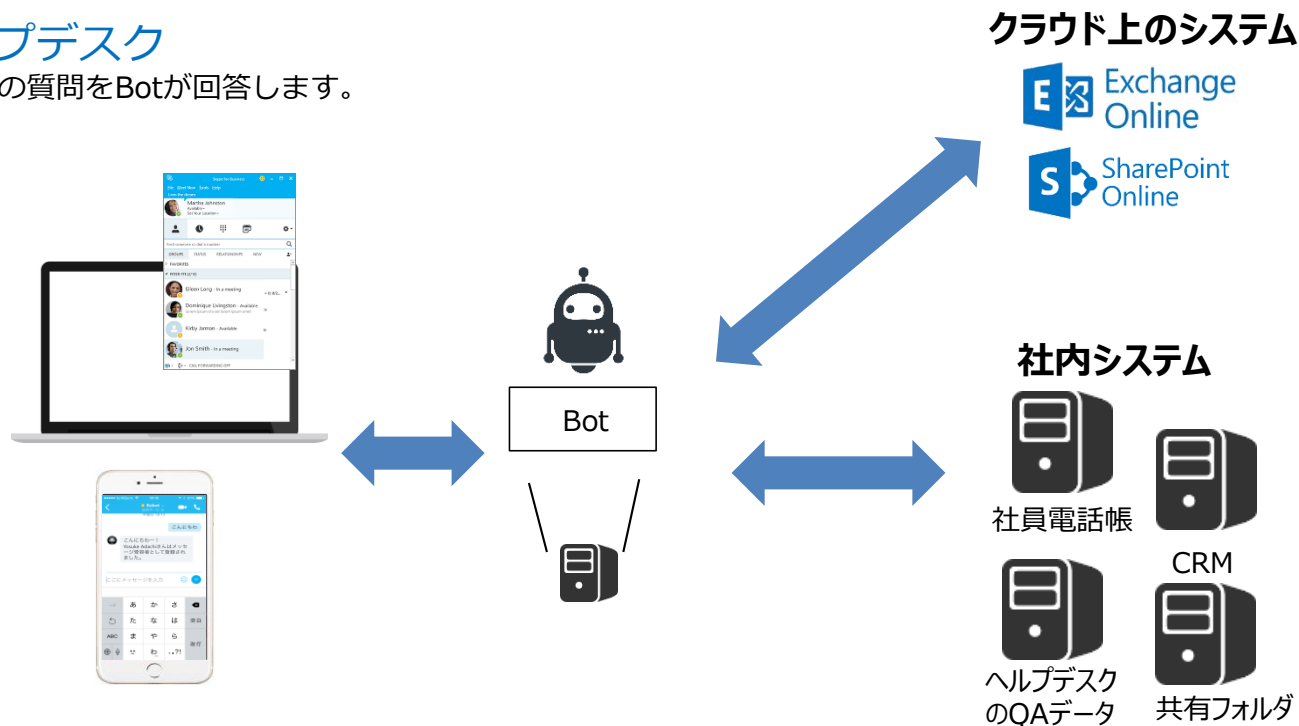
ユーザからの質問をBotが回答します。

④ SharePointや共有フォルダの検索

社内のドキュメントを検索、検索結果を表示することが可能です。

⑤ 会議室の空き状況確認

Exchange Online上の会議室の検索をします。



Botのパイロットは外部に公開しています。

外部フェデレーション済のSkype for Businessクライアント上でrobot@fairuse.jpを検索してください。「こんにちは」と2回話しかけてください。弊社社内の各センサーを御利用いただけます。



明暗センサー
電気の点灯、消灯を検知します。

人感センサー
3メートルの範囲で人が横切ると検知します。

温度計
温度の変化を検知します。

ビデオの自動応答

ビデオ通話をボタンを押すと、Robotが自動的に承諾ボタンを押して、Botについているカメラで弊社の様子を御確認いただくことも可能です。



Skype for Business上のBotに質問をすると、Office365の機能、使い方について答えて答えてくれています。sana@fairuse.jpにまずは「こんにちは」と話しかけてください。



こんにちは

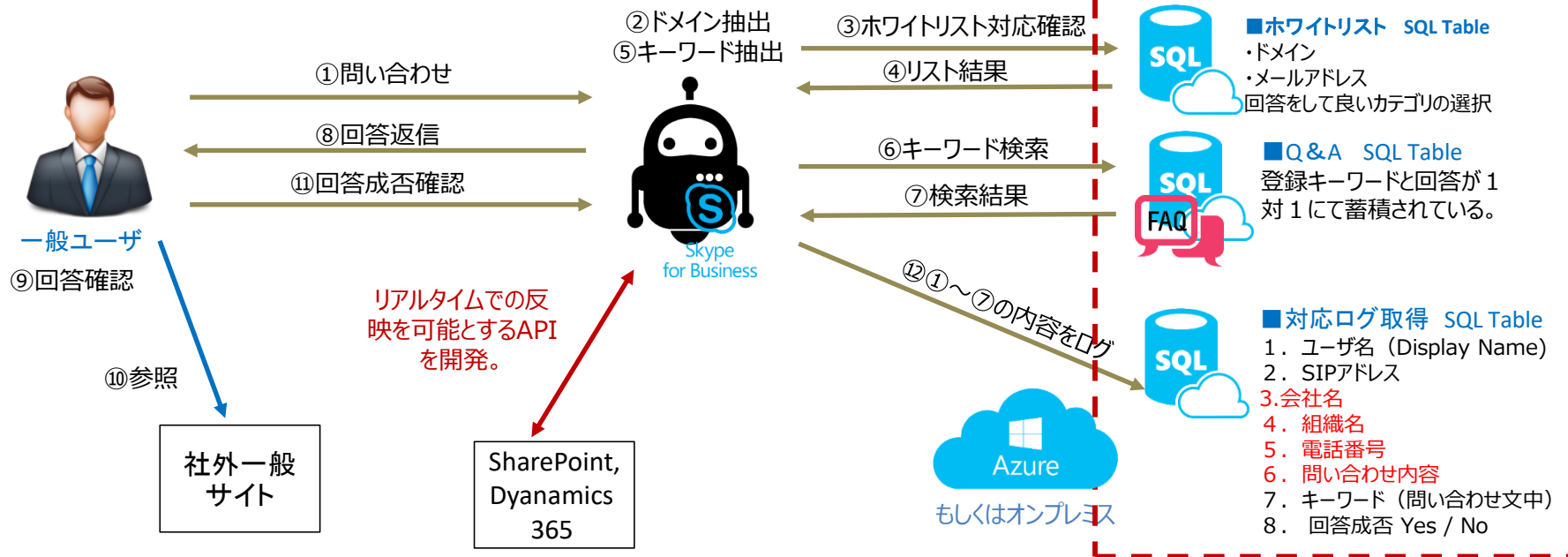
Office365について知りたいことがあったら、質問してください。

メール、ファイル、添付

メールにファイルを添付するには、Outlook上にて「挿入タブ」
→「ファイルの添付」をクリックしてください。さらに詳細の情報はこちらを[クリック](#)してください。

■ Office365の下記分野を網羅しています。

- ❑ Exchange（メール送信、予定表、メモ帳、To Doリスト）
- ❑ OneDrive（ファイル共有）
- ❑ Skype for Business(インターネット会議)
- ❑ iPad、iPhone、Macでの利用



①問い合わせ：問い合わせの実施。

②ドメイン抽出：ユーザのドメインを抽出

③ホワイトリスト対応確認：ユーザのメールアドレス。ドメインがホワイトリストにあるか確認

④リスト結果：ホワイトリストに登録されている/登録されていない を返す。

⑤キーワード抽出：キーワードを抽出する。

⑥キーワード検索：該当するキーワードでSQLから検索を実施する。

⑦検索結果：SQL上の回答内容をBotに返信する。

⑧回答返信：ユーザに返信

⑨回答確認：Botからの回答内容を確認

⑩参照：Botの回答内容に応じて各サイトを参照する場合もある。

⑪回答成否確認：ユーザは問題が解決したか否かをBotに通知する。

⑫内容をログ：SQLに内容をログする。

⑪の回答成否確認の内容

- 貴方の問題は解決しましたか？ はい/いいえ
- ⇒ いいえの場合：担当者よりフォローご連絡を必要としますか？ はい/いいえ
- ⇒ はいの場合：担当者より追ってご連絡をさせていただきますので暫くお待ちください。

各SQLはAzureのSQLDatabaseを提案出来る他、各御客様のシステムと連携させる同期ツールを開発させていただくことも可能です。

Sana

Sana

退席中 2 日

2 人の参加者

2017年7月3日

こんにちは

05:26



私はFAQ BOTと申します。

下記の個人情報を記録させていただきます。よろしいでしょうか？

会社名：

お名前：Yosuke Adachi

メールアドレス：adachi@fairuse.jp

1. はい

2. いいえ

数字で回答してください。

※個人情報ポリシーは[こちら](#)をご参照ください。

05:26

最後のメッセージは 2017/07/03 05:26 に受信しました。

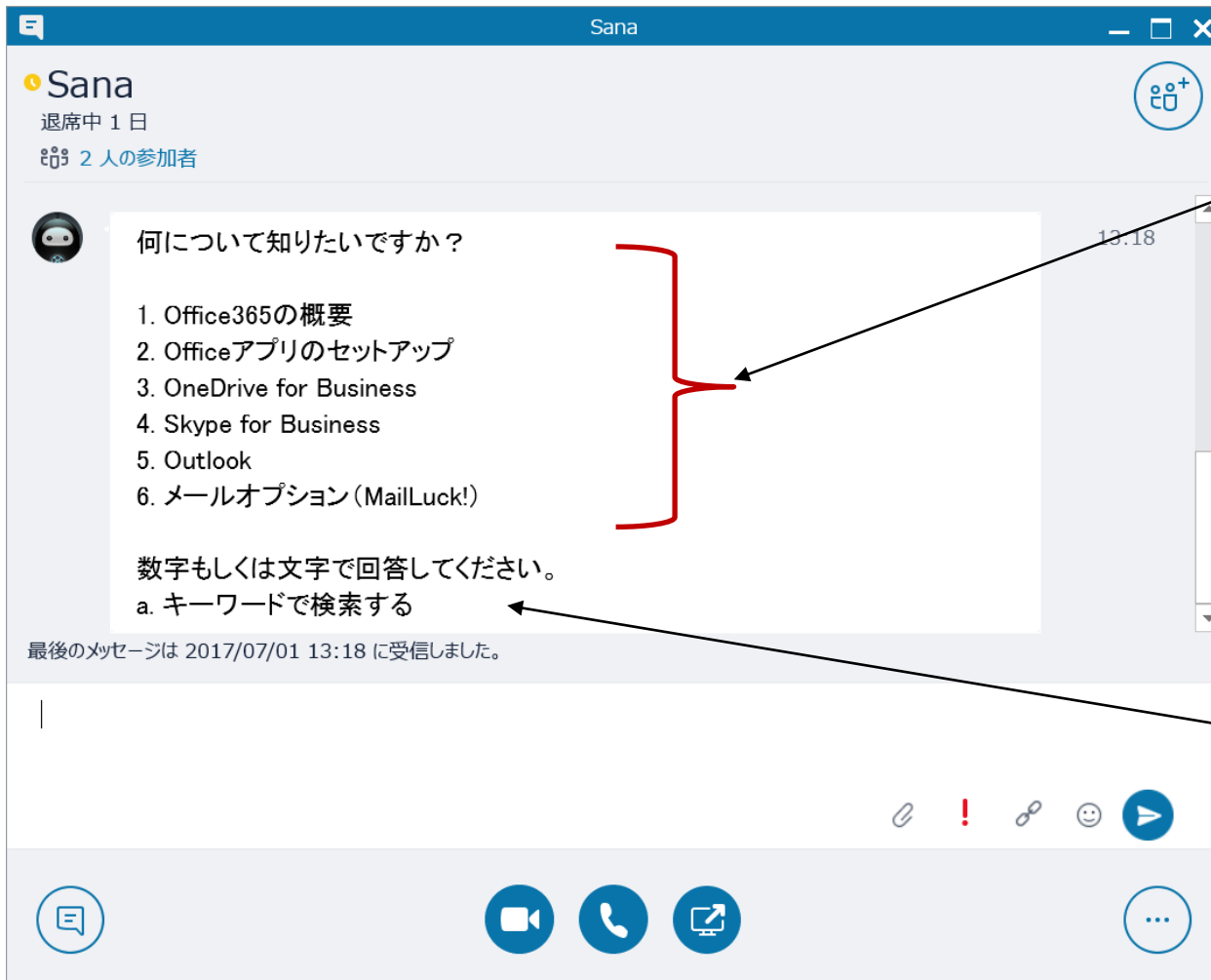








弊社オリジナルBotとMicrosoftが提供するBot Frameworkの双方でナビゲーションメニューとフリーキーワード検索を実施することが可能



ナビゲーションメニュー

階層型メニューの提示によりユーザに回答の候補を選択させていくことが可能です。

BotFrameworkの場合はWebチャット型であるなら、ボタン型で開発可能です。

階層型メニューはCSV形式でメンテナンス可能です。

キーワード検索

Outlook、メール、添付といった複数キーワードの検索、LUISと組み合わせる場合には文章での質問も可能になります。

Sana

Sana

退席中 2 日

2 人の参加者

1

05:29

[メールを送受信する]ですね。

1. 受信したメールを確認する

2. メールを作成・送信する

3. メールにファイルを添付して送信する

数字もしくは文字で回答してください。

a. キーワードで検索する

b. TOPへ戻る

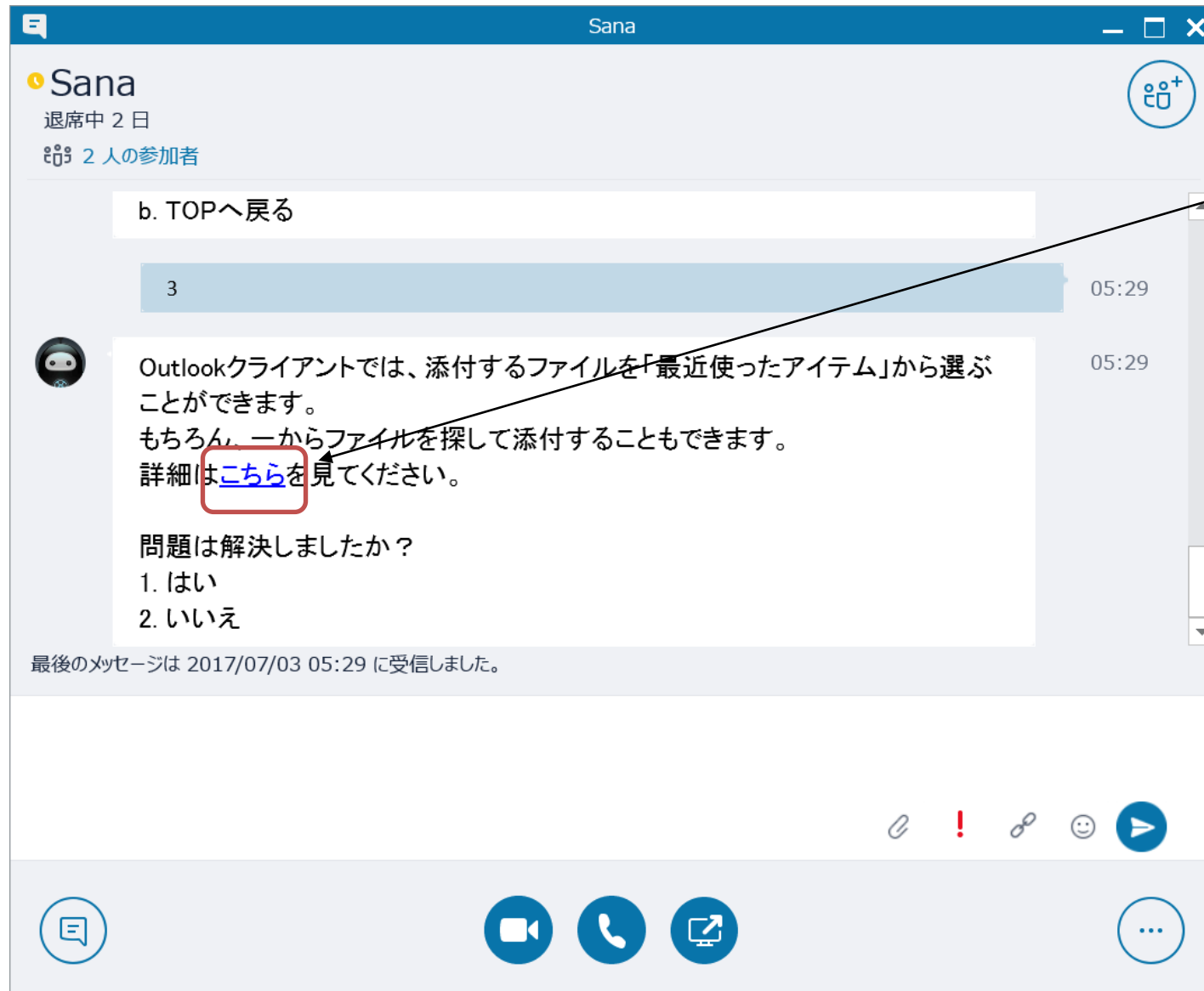
最後のメッセージは 2017/07/03 05:29 に受信しました。

!

2018/7/30

Confidential

9



Microsoft社の動画つきのより詳細なページに遷移します。

ビデオ: メールと一緒に添付 × +

support.office.com/ja-jp/article/%E3%83%93%E3%83%87%E3%82%AA-%E3%83%A1%E3%

Microsoft

Office のヘルプの検索

Office 製品 テンプレート サポート

Office 365 を購入する >

アプリ インストール アカウント トレーニング 管理者

Outlook のトレーニング / メールを送受信する / メールにファイルを添付して送信する

メールを作成・送信するビデオ

メールにファイルを添付して...ビデオ

メールを返信・転送するビデオ

メールの削除と復元ビデオ

添付ファイルを開く/保存するビデオ

自動応答メールを送信するビデオ

送信済みメールを取り消す...ビデオ

メールを作成・送信するビデオ

メールにファイルを添付して...ビデオ

メールを返信・転送するビデオ

メールの削除と復元ビデオ

添付ファイルを開く/保存するビデオ

自動応答メールを送信するビデオ

送信済みメールを取り消す...ビデオ

このコース:

キストまたは画像を追加して書式を定める

演習

トランスクリプト

LinkedIn Learning

このレッスンでは、メールにファイルを添付して送信する方法について解説します。

メッセージの作成ウィンドウ内に 送信するメールが作成されています。

宛先、件名、本文が入力されていますね。

では、ファイルを添付する 操作を見ていきましょう。

「メッセージ」タブ>「挿入」グループ>「ファイルの添付」ボタンをクリックします。

すると、「最近使ったアイテム」一覧が表示されます。

この「最近使ったアイテム」一覧には 最近使用したファイルの一覧が表示されます。

Sana

応答中 2 日

合計 2 人の参加者

b. TOPへ戻る

3

05:29

05:29

Outlookクライアントでは、添付するファイルを「最近使ったアイテム」から選ぶことができます。

もちろん、 からファイルを探して添付することもできます。

詳細 [こちら](#) をご覧ください。

問題は解決しましたか？

1. はい

2. いいえ

最後のメッセージは 2017/07/03 05:29 に受信しました。

ビデオ: メールと一緒に添付 × +

support.office.com/ja-jp/article/%E3%83%93%E3%83%87%E3%82%AA-%E3%83%A1%E3%

Microsoft

Office のヘルプの検索

Office 製品 テンプレート サポート

Office 365 を購入する >

アプリ インストール アカウント トレーニング 管理者

Outlook のトレーニング / メールを送受信する / メールにファイルを添付して送信する

メールを作成・送信するビデオ

メールにファイルを添付して...ビデオ

メールを返信・転送するビデオ

メールの削除と復元ビデオ

添付ファイルを開く/保存するビデオ

自動応答メールを送信するビデオ

送信済みメールを取り消す...ビデオ

メールを作成・送信するビデオ

メールにファイルを添付して...ビデオ

メールを返信・転送するビデオ

メールの削除と復元ビデオ

添付ファイルを開く/保存するビデオ

自動応答メールを送信するビデオ

送信済みメールを取り消す...ビデオ

このコース:

キストまたは画像を追加して書式を定める

演習

トランスクリプト

LinkedIn Learning

このレッスンでは、メールにファイルを添付して送信する方法について解説します。

メッセージの作成ウィンドウ内に 送信するメールが作成されています。

宛先、件名、本文が入力されていますね。

では、ファイルを添付する 操作を見ていきましょう。

「メッセージ」タブ>「挿入」グループ>「ファイルの添付」ボタンをクリックします。

すると、「最近使ったアイテム」一覧が表示されます。

この「最近使ったアイテム」一覧には 最近使用したファイルの一覧が表示されます。

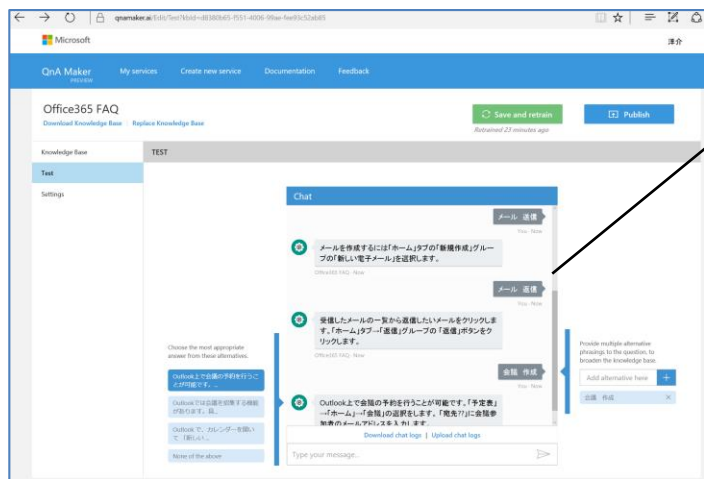
2018/7/30

Confidential

11

弊社の考えではキーワードレベルでは、QnA Makerでもある程度のユーザビリティを実現できるのではないかと考えております。ユーザが文章で記載する場合は、形態素解析機能も有するLUISを利用することが有効です。

もしよろしければ、Azure上のテスト環境にアクセスをしていただくことも可能です。



MicrosoftのAI Cognitive Serviceとの連携

QnA Maker

+

← → ↺ | 🔒 qnamaker.ai/Edit/KnowledgeBase?kbld=d8380b65-f551-4006-99ae-fee93c52ab85

📖 ☆ | ≡ 📏 🔔 ⋮

Microsoft

洋介

QnA Maker

PREVIEW

My services

Create new service

Documentation

Feedback

Office365 FAQ

[Download Knowledge Base](#) | [Replace Knowledge Base](#)

↻ Save and retrain

Publish

Retrained 8 minutes ago

Knowledge Base	KNOWLEDGE BASE 117 QnA pairs		+ Add new QnA pair
Test	Question	Answer	
Settings	^ Original source: QnAMaker_Office365QnA_リトレーニング_2017630.tsv		
	1	Question	Answer
	2	Office 365 とは ?	Office 365 では、最新バージョンの Officeスイート、クラウド上のストレージであるOneDrive、スマートフォンで利用可能なOffice Mobile アプリを入手することができ、様々な端末で作業することができます。
	3	Office 365 にサインインする。	Word、Excel、または PowerPoint などのOfficeスイートデスクトップ アプリを使用する際に、画面の右上隅にある [サインイン] を選択し、メールアドレスとパスワードを入力します。Office365では各Officeスイートのライセンスアクティベーションをメールアドレスを用いて実施しています。
	4	support.office.com のヘルプとサポートを利用する。	Office 365 について質問がある、トレーニングが必要である、または専門家の意見を聞く必要がある場合、Microsoft社は様々なサービスを提供しています。もし御自身で体系的にOffice365についての知識を身につけたい場合は、support.office.comへのアクセスをお勧めします。
	5	Android スマートフォンとタブレットで Office 365 を利用する。	Androidのスマートフォンおよびタブレットで Office 365 を使用し、職場、外出先、自宅からファイルを閲覧、編集することが可能です。AndroidのGoogle PlayからWord、Excel、PowerPoint、Outlookなどの各アプリを検索し、ダウンロードしてインストールして利用することが可能です。
	6	iPhone と iPad で Office 365 を利用する。	iPhoneおよびiPadで Office 365 を使用し、職場、外出先、自宅からファイルを閲覧、編集することが可能です。iPhone、iPadのAppStoreからWord、Excel、PowerPoint、Outlookなどの各アプリを検索し、ダウンロードしてインストールして利用することが可能です。
	7	Windows 10 スマートフォンで Office 365 を利用する。	Windows 10 スマートフォンには Office モバイル アプリがプレインストールされているので、何もダウンロードする必要はありません。Word、Excel、PowerPoint、Outlook等の各アプリを設定すれば利用することが可能です。

下記は弊社Botパッケージで提供しているOffice365のQ & Aの例文です。
NDAを御締結いただければ、テキスト形式で御渡しします。

31	ダウンロードとインストール	https://portal.office.com/OLS/MySoftware.aspx から、Skype for Businessを選択し、ダウンロードしてインストールできます。言語を選択して、他の Office プログラムに一致するバージョンを選びます。どのバージョンを使っているかが分からない場合は、既定のままにします。
32	サインインおよびサインアウト	「サインインアドレス」には、Office365のメールアドレスを入力します。「サインイン」ボタンをクリックした後、パスワードの入力欄が表示されます。ここでパスワードを入力して、[パスワードを保存する] ボックスがオンになっていることを確認します。
33	サインイン	「サインインアドレス」には、Office365のメールアドレスを入力します。「サインイン」ボタンをクリックした後、パスワードの入力欄が表示されます。ここでパスワードを入力して、[パスワードを保存する] ボックスがオンになっていることを確認します。
34	オーディオおよびビデオをセットアップする	Skype for Businessを利用して音声通話、ビデオ通話を行う場合、PC上のスピーカー、マイク、カメラを設定する必要があります。設定をするにはSkype for Businessクライアントのメニューのうち「ツール」を選択し、「オーディオデバイスの設定」と「ビデオデバイスの設定」のそれぞれにて設定を行います。
35	プレゼンス オプションを設定する	プレゼンスとは自分の状態を視覚的にリアルタイムにかつ常時、社内の同僚や上司、他者に伝えることが出来る機能です。最も代表的な表示項目は緑、赤、黄色で、それぞれ[連絡可能]、[取り込み中]、[退席中]を意味します。これらは、実際のPCの利用とOutlook上に登録されている予定によって変更がされます。デフォルトではPCに対して何もしないと、5分で退席中になります。Outlook上にて会議などの予定が入っていると、「取り込み中」と表示されます。またプロジェクターを利用したり、Skype for Businessを利用した発表を行なうと、「応答負荷」と自動的に表示されます。
36	写真を追加または変更する	Skype for Businessにて表示されるアイコン画像を登録、変更するには、Skype for Businessのクライアント上のメニューの「ツール」を選択し、「オプション」→「写真」を選択します。

下記は弊社Botパッケージで提供しているOffice365のQ & Aの例文です。
NDAを御締結いただければ、テキスト形式で御渡しします。

43	メールに添付	Outlook上にて「新規作成」ボタンをクリックして、「メッセージ」タブ→「挿入」グループ→「ファイルの添付」ボタンをクリックします。すると、「最近使ったアイテム」一覧が表示されます。添付したいファイルが一覧にある場合には一覧内の添付するファイルを クリックするだけで メールにファイルを添付することができます。「最近使ったアイテム」一覧に 添付するファイルが表示されていない場合には 下の方にある「この PC を参照」をクリックすると「ファイルの挿入」のダイアログボックスが表示されますので 添付するファイルを選択することができます。
44	ファイルを添付	Outlook上にて「新規作成」ボタンをクリックして、「メッセージ」タブ→「挿入」グループ→「ファイルの添付」ボタンをクリックします。すると、「最近使ったアイテム」一覧が表示されます。添付したいファイルが一覧にある場合には一覧内の添付するファイルを クリックするだけで メールにファイルを添付することができます。「最近使ったアイテム」一覧に 添付するファイルが表示されていない場合には 下の方にある「この PC を参照」をクリックすると「ファイルの挿入」のダイアログボックスが表示されますので 添付するファイルを選択することができます。
45	メールを返信・転送する	受信したメールの一覧から返信したいメールをクリックします。「ホーム」タブ→「返信」グループの「返信」ボタンをクリックします。
46	メールを転送する	受信したメールの一覧から返信したいメールをクリックします。「ホーム」タブ→「返信」グループの「返信」ボタンをクリックします。
47	メールに返信する	受信したメールの一覧から返信したいメールをクリックします。「ホーム」タブ→「返信」グループの「返信」ボタンをクリックします。
48	メールの削除と復元	メールを削除するには、Outlook のリボンメニューから「削除」を選択します。いったん削除したメールを復元する場合には、「削除済みアイテム」フォルダーからそのメールを選択し、右クリックをします。さらに「移動」を選択し、メールを保存する場所を選択します。

Microsoft Cognitive ServicesもIBM Watsonもどれだけ学習すればどれだけ賢くなるかは、実際に学習させてみなければわかりません。

英語をベースに開発がされていることもあり日本語でどれだけ学習効果が上がるのか不明です。

クラウドベースなので、いつ内部ロジックが変更され、使いやすくなるのか、反対に今まで回答できていた内容に回答が出来なくなるか不明。

どれだけの投資すれば、現行のヘルプデスクへの問い合わせをAIが自動回答できるようになるのか
正確には不明である。

上記はBot開発をしていく上での大きな問題点としてあげられます。

弊社含めてどのベンダーも学習塾に例えるのであれば、どのような教科、カリキュラム、教材で生徒であるLUISに教育をさせるかは御伝えできますが、学校のテストの点数を90点以上にさせるという保証が出来ません。

弊社含めてどのベンダーもLUISおよびQnA Maker双方ともPreview Editionであり、精度や品質を数値面で御約束が出来かねている状態です。

まずはリスクの無い方法での開発の是非を検討できる段階まで支援をさせていただきます。

会議室情報検索機能

会議室予約



会議参加者はだれですか？社員番号で入力をしてください。（例：0001ABC ）

0001ABC, 0002EFG, 0003HIJ, 0004KLM, 0005NOP,

会議実施希望日を教えてくださいませんか？（例：5月25日）

6月28日

会議に必要な時間は何時間ですか？（例：0.5時間 / 2時間 / 8時間 / 30分 / 60分）

2時間

会議件名を教えてください。（例：営業会議 ）

営業会議

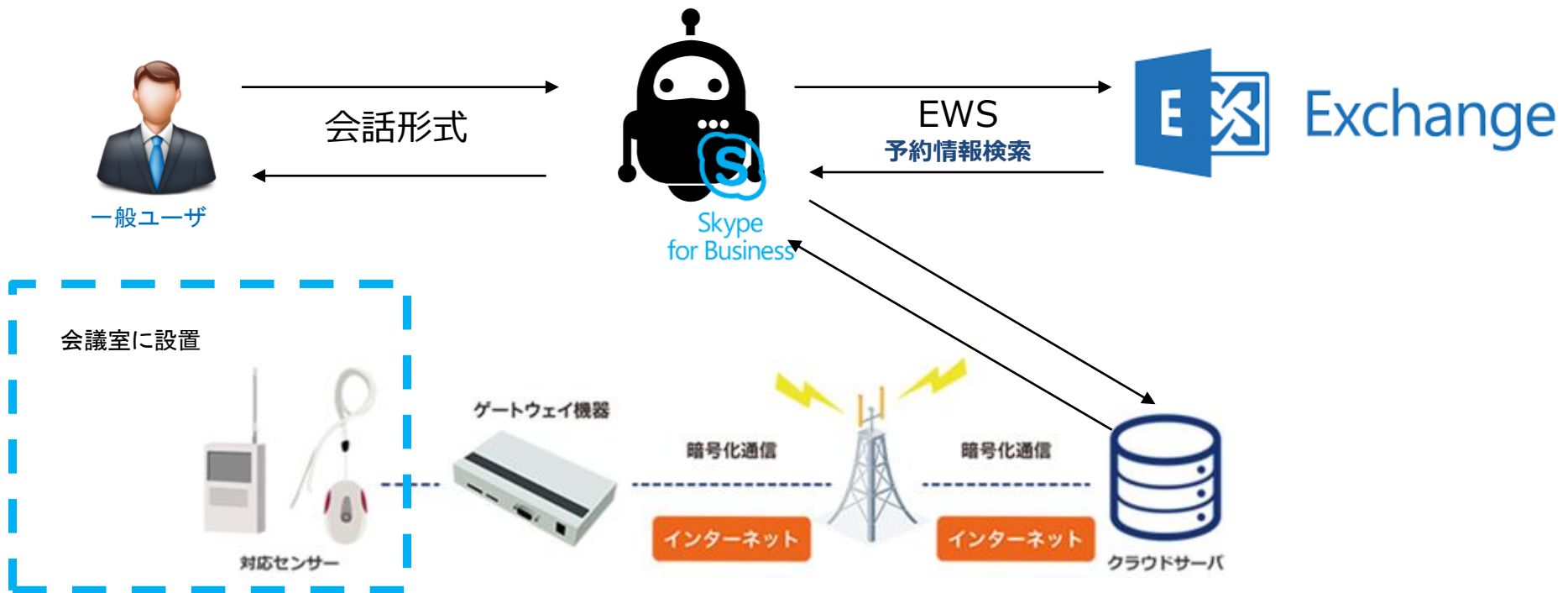
5人部屋が良いですね？人数の指定があれば教えてください。（はい/具体的な人数）

8人

1. 会議室A 2017年5月25日 火曜日 10:00～12:00
2. 会議室B 2017年5月25日 火曜日 12:00～14:00
3. 会議室A 2017年5月25日 火曜日 14:00～16:00
4. 会議室F 2017年5月25日 火曜日 12:00～14:00

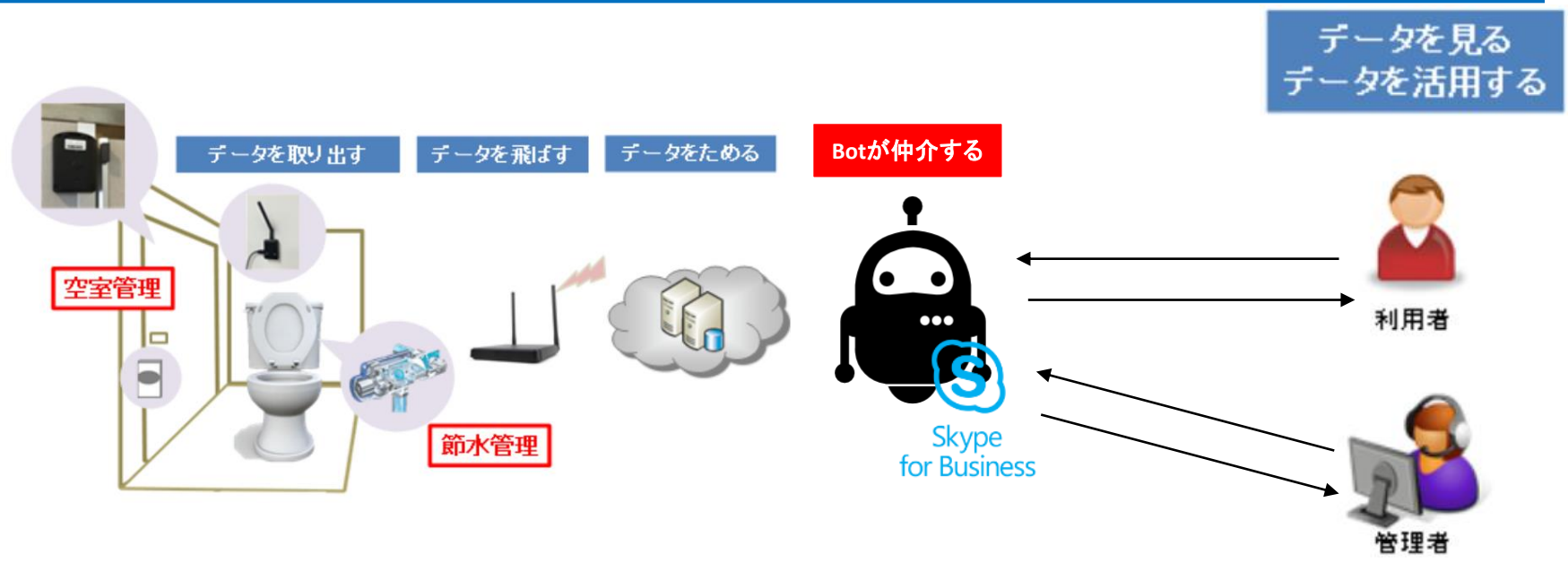
2

会議室を予約をし、また参加者へ会議予約依頼を送信しました。



山田太郎さん、貴方は会議室の空予約
をしていませんか？もし使わないので
したら、他の人のためにリリースして
ください。

IoTとの連携



問い合わせ形式の場合の例

男性トイレで空いている階？

26階です。



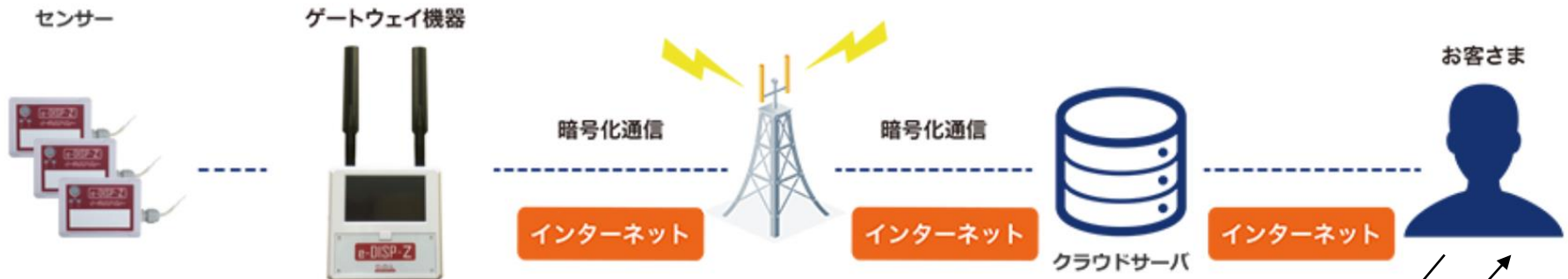
プッシュ形式の場合の例

男性トイレは25階が空いています。



管理者への通知：24F男性トイレで個室Aの利用者が30分以上出てきません。





問い合わせ形式の場合の例

今の温度は何度ですか？

28度です。

プッシュ形式の場合の例

温度が30度になりました。空調機の点検をしてください。

このような用途におすすめです！

- ✓ 快適なオフィス作りのための環境計測に
- ✓ ビニールハウス・店舗・倉庫などの温湿度管理に
- ✓ 医療や福祉分野での健康管理に
- ✓ 運送用トラック荷台の温度管理に



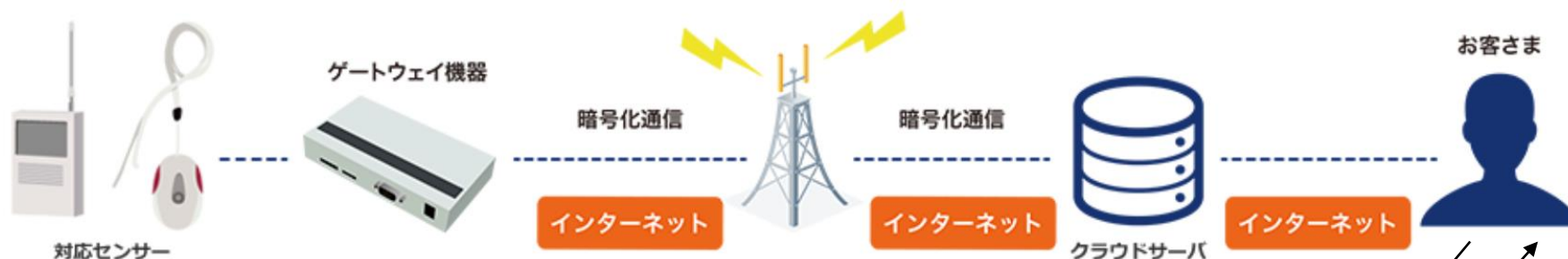
オフィスの環境計測



ビニールハウス内の環境計測



冷凍車の庫内温度計測



問い合わせ形式の場合の例

過去30分以内に人がとおりましたか？



はい。のべ3人が通りました。

プッシュ形式の場合の例

今人がセンサーの前を通りました。監視カメラを確認してください。

※Skype for Businessを通して関係者全員へ発信

このような用途におすすめです！

- ✓ 人通りが少ない場所の防犯に
- ✓ 犯罪が起きにくい環境を作り防犯効果向上に
- ✓ 建物の外周警備や侵入検知に
- ✓ 見守りや介護ケアに



人感センサーによる侵入検知



センサーライトによる防犯



アラームセンサーによる警報

ヘルプデスクの自動化

- ヘルプデスクを自動化し、様々な社内の問い合わせに自動的に回答することが出来ます。
- ⇒ 各企業ごとに明確にコストメリットを試算することが可能であるため、企業としても導入しやすいです。

会議室の予約

- 空いている会議室を予約することが出来ます。
- ⇒ 各企業ごとに明確にコストメリットを試算することが可能であるため、企業としても導入しやすいです。

社内電話帳、SharePoint, Dynamics 365への検索や入力

- SharePoint OnlineやDynamics 365への入力をBot経由で実施することが可能です。
- ⇒ スマートフォンでの利用に業務を効率化することが出来ます。

Skype for Business Onlineの利用率向上

- Skype for Business上にてBotは動作します。IMテキストベースで動作しますので、通話帯域が狭い企業でも有意義に御利用いただけます。

Azureの利用

- Azure上のSQL DataBaseを利用して運用可能です。これを機会にAzureの利用開始を始めてはいかがでしょうか。

AIの利用

- Microsoftが提供するAIであるCognitive Servicesも活用可能です。Q & AのエンジンにLUIS、IoT機能等の利用においてMachine Learning等を活用できます。これを機会にAIの評価と御導入も御検討ください。

1. KDDI株式会社様に弊社Botのバージョン 1 御導入。
2. KDDI様以外の某大手電話キャリア様に対してBot開発コンサルティングを実施。
3. 上記 2 社以外の某最大手電話キャリア様がOffice365を社外販売する中で、エンドユーザからの問い合わせを一手に受け付けるヘルプデスクBotを2017年6月10日納品予定。（当製品はパッケージとしての販売提供）
4. 大手飲料メーカー様のうちの一社にBot Frameworkで開発したBotのWeb会話インターフェースを開発中。DirectLine APIで独自のデザインでかつセキュアな接続を実現。
5. 2017年5月23日、24日開催のMicrosoft社の開発会社、SIer向けのイベントであるde:codeにて、日本マイクロソフトのマーケティング部門の御依頼により、ブース出展とセミナーでのデモをいただくことが確定。（ブース出展は通常はスポンサー料金が必要であるが、弊社だけ特別御協力出展。）

	AI連携	レスポンス	セキュリティ	プレゼンス&アイコン表示	オンプレミスでのホスティング	Azure連携	Skype for Business Server	多プラットフォーム対応
弊社Bot	○	○	○	○	○	○	○	△
Bot Framework	○	△	△	×	×	○	×	○

- **AI連携**
 - 双方ともLUIS等のAIに連携が可能
- **レスポンス**
 - Bot FrameworkはMicrosoftが全世界の多数のユーザに公開しているサービスのため、若干遅い。
- **セキュリティ**
 - Bot FrameworkはSecret keyを隠蔽しなければBtoBサービスでは利用がしにくい。また、Skype for BusinessではTrusted Application APIに現時点では（2017年5月）不安定。
- **プレゼンス&アイコン表示**
 - Bot Frameworkだと社内利用でもアイコンやプレゼンスが表示されない
- **オンプレミスでのホスティング**
 - Bot Frameworkはクラウド上のサービスであり、オンプレミスでの運用が不可能。また、WebChat等のインターフェースは逐次変更される。
- **Azure連携**
 - 双方とも各種Azure連携が可能です。
- **Skype for Business Server**
 - Skype for Business ServerやLync Serverでの利用が不可能
- **多プラットフォーム対応**
 - Bot Frameworkは最初から様々なConnectorが用意されており、多数のプラットフォームに配信が可能。弊社オリジナルBotは各プラットフォームへの対応は個別開発が必要。

弊社ではBot Framework、オリジナルBotの双方の開発が可能です。それぞれ御客様の要望に合致する内容での開発を実施させていただきます。

■ フェアユース株式会社概要

- 2010年11月に会社設立
- 代表取締役 足立洋介
- SharePoint のiOS、Androidアプリである「ShareOffice」の販売
- Skype for BusinessのAPIを利用したWindows、iOSアプリ開発
- iOS、Android、WindowsStoreアプリ等の受託開発

■ 主要顧客企業

- KDDI株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社
- 株式会社ミルボン
- NECネットエスアイ株式会社
- ✓ 御陰様で直接取引をさせていただく東証一部上場企業が20社以上となりました。

■ 連絡先

- 電話 : 03-6868-3223
- FAX : 03-6869-1184
- メールアドレス : contact@fairuse.jp
- URL: <http://www.fairuse.jp/>
- 住所 : 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-8 402



Share Office

- SharePoint、SharePoint OnlineのiPhone、iPad、Androidのネイティブアプリ
- iOS、Android、WindowsStoreの各種プラットフォーム対応
- 日本の大企業のセキュリティポリシー、ネットワークに適応するカスタマイズが可能
- <http://www.fairuse.jp/shareoffice/>



IoT Bot for Skype for Business

- Skype for Business上のBotが様々な質問に答えてくれます。
- Lync SDKを利用した開発
- <http://www.fairuse.jp/download/IoTBot.pdf>



Work Time Recorder

- テレワーク、在宅勤務向けのソリューション
- Lync SDKを利用した開発
- <http://www.fairuse.jp/download/worktimerecorder.pdf>

弊社のBot案件の実績

1. KDDI株式会社様に弊社Botのバージョン 1 御導入。
2. KDDI様以外の某大手電話キャリア様に対してBot開発コンサルティングを実施。
3. 上記 2 社以外の某最大手電話キャリア様がOffice365を社外販売する中で、エンドユーザからの問い合わせを一手に受け付けるヘルプデスクBotを2017年6月10日納品済。（当製品はパッケージとしての販売提供）
4. 大手飲料メーカー様のうちの一社にBot Frameworkで開発したBotのWeb会話インターフェースを開発中。DirectLine APIで独自のデザインでかつセキュアな接続を実現。
5. 2017年5月23日、24日開催のMicrosoft社の開発会社、SIer向けのイベントであるde:codeにて、日本マイクロソフトのマーケティング部門の御依頼により、ブース出展とセミナーでのデモをいただく。（ブース出展は通常はスポンサー料金が必要であるが、弊社だけ特別御協力出展。）



FairUSE